

安保・戦争国会粉碎へ!

全学連(斎藤郁真委員長) 書記局通信

2015年5月12日
No.292

Tel 03-3651-4861

mail_cn001@zengakuren.jp

http://www.zengakuren.jp/

5/17 沖縄県民大会 怒りの10万人大決起を!

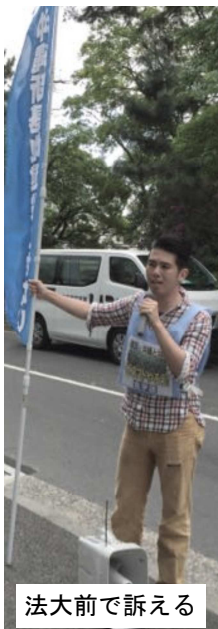
◆赤嶺知晃(沖縄大学学生自治会委員長)

全国学生みなさんに、戦争と辺野古新基地建設に反対する5月沖縄闘争への参加を呼びかけます!

いま沖縄は、「全島ゼネスト情勢」と言うべき怒りが全土で爆発しています。4月28日に行われた日米首脳会談は、新ガイドライン締結の地平から同盟強化と辺野古新基地建設推進を確認しました。世界大恐慌下で没落する両国は、朝鮮・中国侵略戦争に血道をあげています。安倍は、戦争のできる国づくり=改憲を成し遂げるために、国会での戦争法案制定と、辺野古新基地建設にのめりこんでいます。

5月9日には、中谷防衛相が翁長沖縄県知事と会談しました。中谷は「辺野古が唯一の解決策。全力で移設を進めていきたい」と居直り、中国との戦争における「沖縄の地理的重要性」を語って新基地建設を合理化しようとした。

しかし、沖縄の労働者・学生は基地建設の本質を見抜き、これを実力で19年間止めてきました。戦争が切迫する中で、オスプレイなど米軍機による部品落下事故も相次いでいます。沖縄を新たな戦場にすると言って恥じない中谷発言に対してさらなる怒りの爆発は必至です。安倍政権が暴力的



法大前で訴える

に突っ込めば突っ込むほど、「沖縄戦を繰り返すな」「二度と捨て石にさせない」という絶対非和解の怒りが爆発しています。

基地ゲート前での抗議運動の弾圧に基地労働者が動員され、2月24日には全駐留軍労働組合が抗議しました。これに続いて4月24日、抗議活動を行う市民への24時間の監視業務を担わされていた国家公務員の労働組合が抗議に立ち上がりました。新基地建設に動員される基地労働者や国家公務員が「こんな業務はおかしい」と声をあげています。

一方、基地と引き換えの「振興策」でつくられたコールセンターは、大恐慌の中で閉鎖・大量解雇が多発しています。これに対し沖縄の青年労働者が労働組合を結成し、ストライキで反撃しています。基地労働者を基軸とした全島ゼネストで基地機能を停止させ、ベトナム戦争を止めた71年のような闘いが再び巻き起ころうとしています。5月17日の県民総決起大会(セルラースタジアム那覇)は、ゼネストを切り開く10万人の大集会として爆発しようとしています。

安倍やオバマは、沖縄ゼネスト情勢や韓国・民主労総ゼネストが全国に伝播し、新基地建設阻止・日米安保粉碎の闘いが巻き起こることに心底恐怖しています。沖縄の全島

戦争法案粉碎! 安倍たおせ!

〈6・15国会包囲大闘争〉

6月15日(月) 終日、国会デモや座り込み行動<予定>

〈5/16~18沖縄現地闘争〉

~辺野古新基地建設阻止! 全島ゼネストと連帯しよう!~

5月15日(金) 辺野古現地集会 ※先遣隊のみ参加

16日(土) 国際通りデモ、全国学生集会、「復帰」43年集会

17日(日) 沖縄県民大会(那覇市セルラースタジアム)に合流

18日(月) 沖縄大学で集会



ゼネストこそ日米安保体制粉碎—帝国主義打倒の展望です。

* * * * *

沖縄大学では開講日以来、多くの冲大生が冲大学生自治会の呼びかける「新基地建設反対」のメッセージを書いています。授業前のクラス討論では、「学生の力で戦争と新基地建設を阻止しよう」という訴えに多くの冲大生が聞き入り、中には拍手の出るクラスもありました。「沖縄のゆいまーる精神を打ち砕き、強行されつつある辺野古新基地建設、許せません！ 沖縄の学生こそが、米軍基地撤去、戦争反対の意思を示していくべきではないでしょうか！」—5月沖縄闘争に初参加する冲大生のメッセージが示しているように、冲大キャンパスには、戦争・基地への怒りが充満しています。キャンパスにこそゼネストの息吹があります。

許せないのは冲大当局です。冲大当局は、入学前オリエンテーションや開講後の授業で「自治会に関わるな」とネガティブキャンペーンを行いました。しかし、冲大生は分断攻撃を払いのけ、メッセージというかたちで「新基地建設反対」の声をあげました。これに恐怖した冲大当局は、もはや大学という体裁を投げ捨て、演説する私をビデオカメラで撮影することまで始めています。5月1日からは「敷地内での許可なき拡声器の使用、ビラの配布は禁止します。やめてください」という看板をつくって警備員に持たせ、私の真横に立たせています。まさに法大と同じです。今、辺野古の現場でも、海上保安庁が反対する市民を撮影し弾圧していますが、冲大当局のやっていることは、これと何が違うのか！ 冲大生は、こうした激しい分断と弾圧がある中で5月沖縄闘争への参加を決めています。全国学生が冲大と連帯して沖縄に駆けつけることは、冲大生が立ち上がる大きな力になります。韓国—沖縄—

5・10集会に450人が結集！



本土を貫く団結とゼネストを開く10万人県民大会の成功こそ、安保国会粉碎の6・15国会闘争を爆発させ、安倍を倒す力です。全国のみなさん！ 冲大自治会と5月沖縄闘争に立ち上がろう！

★5/10「外登法・入管法と民族差別を撃つ全国交流集会」での、動労水戸・辻川慎一副委員長の発言！

今、世界が大恐慌に突入する中で、「戦争かゼネラルストライキ＝革命か」、そのことが問われています。労働者が仕事を失っていく、非正規になっていく、こういう中で移民労働者、外国人労働者への排斥が巻き起こっています。私はこの集会に参加して長いですが、日本で今まさに「戦争か革命か」「差別排外主義が団結か」が最も核心的に日本労働者階級に問われています。

この集会で私たちは入管法・外登法と闘ってきた。安倍政権が集団的自衛権を行使をし、アメリカとともに中東のみならず朝鮮半島をめぐる情勢に対して日米共同で侵略にうって出ようとしている。それは何より、民主労総がゼネストでパククネ政権を打倒することを圧殺するための集団的自衛権であり、軍事力の行使だということを真っ向から見据えなければなりません。

入管法・外登法とはそもそも、1950年からの朝鮮戦争で日本の労働者と在日朝鮮人・在日外国人を分断し、団結させないための法律です。とことん団結破壊の法律であり、革命を無視する法律です。安倍政権の集団的自衛権に対し、この入管法と闘うことが、外国人・在日朝鮮人とともに、何よりも民主労総とともに闘い団結し抜くことが核心です。民主労総のゼネストにはすさまじく感動します。労働者階級の底知れぬ力をあの闘いから感じ取れます。

安倍政権が過去の戦争をなかったことにする、原発事故をなかったことにする、JR常磐線を全面開通させて原発に向かって避難させる攻撃を絶対に許してはなりません。動労千葉の外注化粉碎闘争はついに、非正規労働者の名誉をかちとる闘いをやりました。動労水戸は常磐線全面開通攻撃と真っ向から激突し、そういう闘いを軸に全国に動労総連合をつくり、民主労総ゼネストと同じように日本でゼネストを実現する、そのために動労水戸は全身全霊で闘う決意です。私たちとともに全国に動労総連合をつくり、私たち労働者とともにストライキでこの情勢に立ち向かうことを、民主労総と団結してやり抜きましょう！

【当面する行動方針】

○「とめよう戦争と改憲、つぶせ裁判員制度」5・19集会

5月19日(火) 18時半～ 東京・弁護士会館2階クレオにて

○「闘う労働運動の再生を！」国鉄闘争全国運動6・7全国集会

6月7日(日) 18時半～ 東京・日比谷公会堂にて

【呼びかけ】国鉄分割・民営化に反対し、1047名解雇撤回闘争を支援する全国運動(国鉄闘争全国運動)

○韓国・民主労総ゼネスト連帯！ 6・28集会

6月28日(日) 13時半～ 東京・江戸川区総合文化センター大ホールにて



○武田雄飛丸君「無期停学」処分撤回裁判・第10回＝判決

6月29日(月) 11時～ 東京地裁419号法廷にて ※傍聴券配布のため、10時半までに裁判所入口脇に集合してください。

○安倍をとともに倒そう！ 7・5大集会

～「7・1 集団的自衛権閣議決定」一周年 改憲・戦争・原発・首切りのABE TAOSE!～

7月5日(日) 13時～ 東京・ニッショーホール(消防会館2F)にて

【主催】許すな改憲！ 大行動